

# 2021年度 京都芸術デザイン専門学校 学校関係者評価報告書

## 1. 学校関係者評価委員会の目的

学校評価とは、学生が質の高いより良い教育活動を享受できるように、学校が学校としての目標や取組等の達成状況を明らかにして、その結果をもとに学校運営の改善を図るために行うものである。文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施。

## 2. 2021年度学校関係者評価委員会 実施概要

◇実施日時：2021年12月2日（木）13：30～15：00

◇実施場所：京都芸術デザイン専門学校

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 学校関係者評価委員会の目的
- (4) 委員長の選任
- (5) 報告及び協議事項
- (6) 協議・意見交換
- (7) 閉会

## 3. 出席者

学校関係者評価委員（五十音順）		
株式会社イルカ	代表取締役	岩崎 拓矢 様
株式会社 MUJI HOUSE	取締役	川内 浩司 様
有限会社 コイズミデザインファクトリー	代表取締役	小泉 達治 様
株式会社コトノスタイル	代表取締役	真壁 齊 様
学校事務局		
京都芸術デザイン専門学校	副校長（委員長）	実成 尚子
京都芸術デザイン専門学校	教学部長	富永 良子
京都芸術デザイン専門学校	事務局長	荒起 北斗
京都芸術デザイン専門学校	教学課長	中村 三友紀
京都芸術デザイン専門学校	教学課	大須賀 美穂

#### 4. 評価委員からの評価および意見

評価項目	評価委員からの評価および意見
(1) 教育理念・目的・育成人材	適切である。
(2) 学校運営	適切である。
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接人と関わらなくても自分の表現力を世の中に発信するという方法が非常に多様化している。内向的で発信が苦手な学生も動画のコンテンツを 1 分間作る、バーチャルな世界でコミュニケーションをとるなど多様性を持たせたらどうか？</li> <li>・人と違うことを発見し、自分の考えを発信する場をたくさん設けられると良い。</li> <li>・ゆとり教育の中で野心をもたせるためには競争が必要となる。K 展などで賞を取るために学生が一生懸命になるなどの仕掛けがあったほうが良いのではないかと？</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスでは依然として東京と地方に差がある。この現状を就職指導に反映し、学生が体感できるのかどうか課題となる。</li> <li>・企業に就職するというイメージが強すぎる印象。デザインを自分で発信できるようになり、フリーという選択肢も見せていったらどうか？</li> </ul>
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のオンライン化で分断されたイメージをもってしまう学生がいるのではないかと？</li> <li>学生と一对一の時間をもち、心のケアが重要になる。専門的にケアするスタッフの配置があっても良いのでは？</li> </ul>
(6) 教育環境	適切である。
(7) 学生の受け入れ募集	適切である。
(8) 財務	適切である。
(9) 法令等の遵守	適切である。
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の項目に比べボランティア活動の評価が低いが目立つ</li> <li>・無償で行っている受託事業をボランティアとしてとらえてもよいのではないかと？</li> <li>・2019 年も評価が「2」で改善されていない。カリキュラムの中でボランティアを積極的に推奨する雰囲気作りがないのではないかと？</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生との関わり合いの中で、海外目線が養える。</li> </ul>

#### 5. 総評

社会の変化に伴い、従来のカリキュラムにも変化が求められている。また、その変化を教育の実質化につなげていくことが重要である。文部科学省の評価項目をもとに自己評価を行っていたが、次年度から評価項目を現状の教育方針に合わせて見直し、教育内容の深化につながるよう再設定する。2021 年度学校関係者評価を受け、今後の課題として本校における質の保証・向上のなお一層の取組充実が図れるよう努める